

スノーパッチ

NICHIREKIの

技術情報

technology information

冬期、路上の積雪を除雪中に除雪車がマンホールなど微量な段差に引っかかり、運転手が怪我をしたり構造物を破損させてしまう例があります。スノーパッチはゼロすりつけ可能な為、降雪前のマンホール周りや橋梁ジョイント部の段差修正など除雪車運行前の対策として使用頂いています。



橋梁ジョイントや側溝の前後など、構造物周りは比較的下がりやすく、毎年のように段差箇所となります。スノーパッチは施工時にモルタル状で柔らかく、コテですりつけて作業するため、**合材で対応できない微量な段差を補修できます。**

こんな場所に...



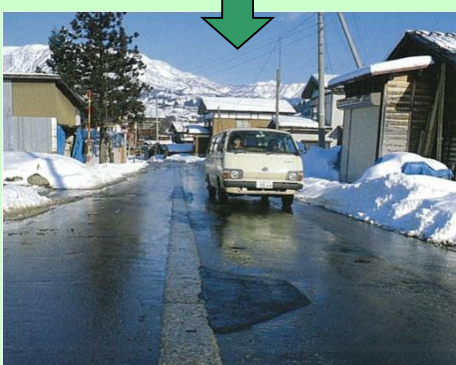
橋梁ジョイント前後に



ポットホールに



構造物周りに



道路総合システムサービスを目指す”技術のニチレキ”

お問い合わせ、資料のご請求先

ニチレキ株式会社 022-388-8101
 大崎営業所 0229-56-3211
 ニチレキHP: <http://www.nichireki.co.jp/>
 東北ニチレキHP: <http://tohoku-nichireki.co.jp/>
 岩手ニチレキHP: <http://www.iwatenichireki.com/>

東北ニチレキ工事株式会社 022-285-1511
 山形支店 023-686-2025
 大崎営業所 0229-56-3211
 青森営業所 0176-22-1931
 福島営業所 024-944-8158

荷姿



細粒タイプ1箱18kg入り(4.5kg×4組)
粗粒タイプ1箱24.8kg入り(6.2kg×4組)

- ・袋入り骨材
- ・紙パック入りバインダ(パックゾールW)
(骨材・バインダは1箱に4組入っています。)
- ・カッター

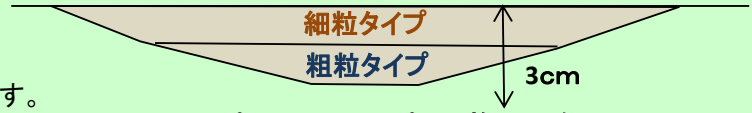
用途

- ・低温(0℃~10℃)下の路面補修
- ・路面が湿潤状態でも施工できます。
- ・0~3cmの薄層補修箇所
- ・舗装・構造物の段差修正
- ・消火栓・ループコイル等埋戻し

■ロメンパッチ、スノーパッチシリーズ

| 製品名 | 使用時期 | 細粒タイプ | 粗粒タイプ |
|--------|------|---------|---------|
| ロメンパッチ | 春~秋 | 4.5kg/組 | 6.2kg/組 |
| スノーパッチ | 冬 | 4.5kg/組 | 6.2kg/組 |

※粗粒タイプは段差箇所が大きい箇所の下地に使用します。



ロメンパッチ・スノーパッチ施工図例

施工手順

- 1, 水、ガムテープ(マスキング使用の場合)、金コテ、計量カップ を準備します。
- 2, 施工予定箇所にガムテープなどで汚れないようマスキングします。(路面乾燥時)
- 3, 骨材・バインダを空練りし、中身を均一にします。
- 4, 付属のカッターで紙パックに切れ目を入れ、紙パックに水を200ml~300ml入れます。
※水が多い程敷き均しやすくなりますが硬化までの時間が伸びます。
- 5, 骨材の入った袋に水を添加したバインダを流し込みます。
- 6, 中身が飛び出さないよう袋の口をねじり、
均一に混ぜるよう10秒程シャカシャカと良く混合します。
- 7, 混合物を施工箇所に流し入れ、コテなどで敷き均します。
- 8, 施工後、約20分で硬化します。
(気温・添加する水の量によって変動します)
- 9, 硬化したことを確認後、マスキングテープを剥がして終了です。
(指で押して水が出るようになれば交通解放可能です。)

施工方法は基本的にロメンパッチと同じです。**加える水の量で施工性・硬化時間を調整できます**ので、硬化時間が長いと感じたら少な目に、硬化時間が早過ぎると感じたら水を多めにと、現地の気温・施工条件に合わせて調節して下さい。
(水分が少な過ぎるとボロボロになり、施工不良になる場合があります。)

動画で確認!

ロメンパッチ取扱説明ビデオV2.0

<http://www.youtube.com/watch?v=RpUuL0n6-Po>

